

梅之木通信

【 週末縄文人の会 】

第38号 2023. 4. 3 発行

今年も新たな新年度が始まりました

例年の縄文人の冬眠期間も明けて、3月初めから2023年も作業が始まりました。昨年、やり残し残した作業も玄関部分のみとわずかであったため、予定していた31日に無事間に合わせることができました。屋根の土に草が根を張れば土が流れることもなく、しっかりとした建物になることと思いますが、予定されていた5棟の縄文住居建設もこれで最終棟となると一抹の寂しさを感じます。



✿ 3/31 5号棟完成式&総会



いつものようにお神酒と食物をお供えて、神様に祈りを捧げて家内安全をお願いします。

ジョンさんのドローンで
空から撮影
上空から見た梅之木遺跡
はどのように映っている
か楽しみです。



食事の楽しみはひとまず
おあずけ。
まずは、総会を開催。
2023年度から「縄文住居を作る会」も大きく変わります！



❖ **作業の内容が変わります**

今までは、縄文住居の建設が中心でした。

=> 今年度からは佐野さんの講義と、今までに建設した縄文住居の補修作業やイベント開催のための準備作業、の二本立ての内容が変わります。

❖ **作業日と場所が変わります**

今までは、毎週金曜日と土曜日の両日、梅之木遺跡で作業をおこなっていました。

=> 土曜日：茅ヶ岳歴史文化研究所で、佐野さんの講義

日曜日：梅之木遺跡で、補修作業やイベント開催のための準備作業

❖ **同好会の名称が変わります**

今までは、縄文住居を作ることが目的であったため「縄文住居をつくる会」としていました。

=> 今年度からは住居をつくることから、縄文文化の知見を深め、多くの人たちに八ヶ岳南麓での縄文文化を広く知ってもらおう活動にシフトすることから、「週末縄文人の会」とします。

❖ **会費の徴収について**

同好会発足時に同好会への入会会費をいただいていたのですが、会費が不足してきました。

=> 作業への参加や講義の受講にかかわらず、継続して「週末縄文人の会」にも所属したいと思われる方は、イベントや作業に来られた時いつでも結構ですので、¥500/1世帯 をお願いできればと思います。



ポトフ、焼き芋にタンドリーチキンと今回も豊富な食材を味わいました。

食材を提供いただいた皆さんありがとうございました♡



マシュマロも上手に焼けたかな？



- ❖ 4月8日から始まる、佐野さんの講義には現在31名の方に申し込みをいただいています。今まで梅之木遺跡での作業に参加されてこなかった方や、他の市民の方も講義に参加されますので「週末縄文人の会」での新たな戦力に大いに期待したいと思っています。